

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(鹿児島県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5 倍/原寸)

『縄文杉と永田岳とヤクシマシャクナゲ』



- 縄文杉と永田岳をヤクシマシャクナゲとともにデザインしています。
 - ※縄文杉：1993 年（平成 5 年）に世界自然遺産に登録された屋久島の中央部に位置する高塚山の南東斜面に生息するヤクスギ。樹齢は推定 2,170～7,200 年まで諸説あり、樹高は 25.3m。縄文時代の生きた化石であるということからこの名がつけられたとされている。
 - ※永田岳：奥岳と呼ばれる屋久島の中央にそびえる高峰の一つであり、標高は 1,886m。頂上付近には、浸食を受けて露呈した花崗岩の岩が多く見られ、屏風を立てたような尾根を張った特徴的な景観を有する。
 - ※ヤクシマシャクナゲ：標高 1,200m 以上に生息する高さ 2～3m 程の常緑低木で屋久島の固有種。5 月下旬から 6 月上旬にかけて、枝先から桃色や紅色の花を 5～12 個咲かせる。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2 倍/原寸)

『桜島』



- 桜島をデザインしています。
 - ※桜島：錦江湾にある東西約 12 km、南北約 10 km の火山島。かつては文字どおり島であったが、1914 年（大正 3 年）の噴火により陸続きとなった。現在も活発な火山活動を続けており、その噴煙を上げる姿は鹿児島を代表する景観の一つとなっている。